

「令和5年度 第5回 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会」議事録

○日 時 令和6年2月21日（水）午後3時00分から

○場 所 豊橋市役所 講堂

○出席者 別紙「出席者名簿」参照

○傍聴人 1名

○事務局 8名

〔会議資料〕

◆次第

◆出席者名簿

【資料1】 令和6年度事業計画（案）

【資料1-1】 令和6年度収入支出予算（案）

【資料2】 企業シャトル BaaS（バース）社会実験事業の実施結果（速報）について

【資料3】 市内線・渥美線運賃の改定について

【資料4】 令和6年度公共交通関係事業（案）について

議事

1. 開会

- 本日の議事録署名者として委員2名が会長より指名された。
- 今回の議事の内容あるいは進行の過程の中で、非公開事項に関するところがあるかどうかの確認がなされた。（非公開事項に関する事項はなし）

2. 議題

○令和6年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について

- 事務局より、令和6年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について【資料1】【資料1-1】に基づき説明が行われた。

（質疑等）

なし

- 議長から協議案第1号について諮ったところ、全会一致で承認された。

3. 報告

○報告第1号 企業シャトル BaaS（バース）社会実験事業の実施結果（速報）について

- 事務局より、企業シャトル BaaS（バース）社会実験事業の実施結果（速報）について

【資料2】に基づき説明が行われた。

(質疑)

(議長)

- 梅田5丁目の乗降者数が多いが、1月に開催した試乗会で増えたのか。

(事務局)

- 梅田5丁目は固定客の利用があり、乗降者数が多くなっている。試乗会は原町、中原町、雲谷町発、いちかわ珈琲着で実施したため、梅田5丁目の乗降者数には影響していない。

(委員)

- 今回の社会実験の利用者の年齢層を教えてください。また、実証実験実施の可否はいつ決定するか。

(事務局)

- 年齢層についてだが、11月下旬からは一部予約なしで運行を開始したので、全てのデータは取れていないが、メインは70代後半の方の利用で、80代の方の利用もあった。実証実験実施の可否についてだが、事業者、湖西市、豊橋市の三者で定例的に今後の方針等を話し合っている。今年度中に決定できるように動いていきたい。

(委員)

- 地域の方が自発的に利用促進をしているが、どのように機運を醸成したか教えてください。

(事務局)

- 12月までの利用実績が昨年度と比べてあまり変わっていない状況であったため、谷川校区の3町に集ってもらい、今の利用状況だと次年度以降の運行が継続されるか分からないことや社会実験中のこのタイミングでしかデータが取れないことを丁寧に説明した。その結果、3町の自発的な利用促進につながったと考えている。

(議長)

- 湖西市で行ったアンケートには、BaaS事業そのものには肯定的だが、乗車することに対しては否定的な意見があった。豊橋市でもアンケートを実施していたら、情報共有してほしい。

(事務局)

- 谷川校区全体へのアンケートを配布しているので、集計後に共有する。

(議長)

- 湖西市では利用者向けのアンケートを実施しているので、お互いの情報を共有して、分析していただけたらと思う。

(事務局)

- ・承知した。

○報告第2号 市内線・渥美線運賃の改定について

- ・委員より、市内線・渥美線運賃の改定について【資料3】に基づき説明が行われた。

(質疑)

(委員)

- ・渥美線の一部預り料金が100円から450円に改定されているが、コインロッカーは無いのか。

(委員)

- ・渥美線の新豊橋駅には無いが、JR豊橋駅にはある。大きな値上げとなるが、近隣のコインロッカーと比べてかなり安く価格設定をしていたので、今回の改定でコインロッカーの価格と合わせた。

(委員)

- ・窓口で荷物を受け取る従業員の人件費増加に伴う値上げなのか。

(委員)

- ・そうではなく、世間一般のコインロッカーの価格に合わせて値上げを行った。

(議長)

- ・現状、どれくらいの利用があるか。

(委員)

- ・1日に1件あるかどうか。

(議長)

- ・周知などはしているのか。

(委員)

- ・ロコミで広がっている部分もあり、利用が集中する日もある。今回の改定でコインロッカーとの分散を図りたいという趣旨もある。

4. その他

○令和6年度公共交通関係事業（案）について

- ・事務局より、令和6年度公共交通関係事業（案）について、【資料4】に基づき説明が行われた。

(質疑)

(委員)

- ・絵本の駅についてだが、絵本は傷みやすかったり、汚れが付いたりしやすいが、管理は誰

がしているのか。

(事務局)

- 交通事業者と豊橋市で運用の方法を話し合いながら事業を実施している。直近の利用状況を見ると、乱雑に扱われていることはない。当初は、駅によって絵本の冊数に偏りが出ると想定されたため、定期的に本の入れ替えなどを行う予定だったが、今のところ、偏りは出ていない。絵本が棚の上に積まれていたら、駅員さんに直してもらおうなど対応をお願いしている。

(議長)

- 事業を続けていけば、偏りが出てくると思うが、その場合は誰が対応するのか。

(事務局)

- 交通事業者から定期的に各駅の絵本の冊数の報告を受けている。過不足等あれば豊橋市の職員が対応する。

(議長)

- 絵本の汚れや破損等が起きた場合も、市の職員が対応するということで良いか。

(事務局)

- 絵本の状態を毎日確認することは出来ないが、出来る範囲で破損や汚れを確認し、修復や入れ替え等対応していきたい。

(議長)

- 承知した。

(事務局)

- 資料4の都市交通計画策定事業の補足説明をさせていただきたい。現交通計画の見直しを基に、令和8年度からスタートする豊橋市都市交通計画を令和6・7年度で策定していく。改定に向けた検討体制として、豊橋市都市交通計画検討委員会作業部会とその上部に豊橋市都市交通計画検討委員会を設置する予定をしている。検討委員会については、本協議会の委員と関係団体を加えたメンバーとなるので、皆さまには、この場を借りて、ご協力をお願いしたい。また後日、検討委員会の推薦について依頼するので、重ねてお願いする。

5. 閉会

事務局の都市交通課課長補佐から閉会の挨拶があり、会議は終了した。

以上、議事の正確を証するため署名押印する。

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員

.....
④

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員

.....
④